

ふるさと“いわた”を豊かに

食と農を守る!!

農業人材の確保、農地の活用

子ども達の学びを守る!!

子どもらしく生き生きと学べる環境づくり

人と人の“ふれあい”を大切にする!!

コミュニケーションのある“ふるさと”

永田たかゆきの
活動の一部を
ご紹介します



1 持続可能な磐田市の農業

●新しい農業形態の探求

農村環境の維持活動が継続できるよう、多面的機能支払事業(※1)の推進に取り組みます。

新たな特産物産地形成支援事業(いわたでレモン)で、J A・ポッカサッポロと協定を締結し、地域ブランド化を推進します。



仮植中のレモン苗木

●茶業の振興

生産振興や販売、イベント等を通じ消費拡大PRに関わる活動を推進します。茶の魅力発信やいわた茶缶販路拡大と共に、海外への輸出の可能性を探っていきます。肥料の安定供給やコスト低減体系への転換を進めます。



茶園(磐田原)

●農地と住環境を守る活動

農業機械の大型化や農地の高度利用化に対応するため、大区画化や排水機能向上などの基盤整備します。市街化調整区域内における優良農地の保全と、担い手の生産環境の充実に努め、必要な人口を維持するため、線引き前宅地の要件の運用緩和や優良田園住宅制度(※2)の推進に取り組んでいきます。



孫とみかん園にて

※1 多面的機能支払事業/地域住民を交えて共同で行う、農地、水路、農道等地域資源の質的向上を支援する事業。

※2 優良田園住宅/農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で、敷地面積300㎡以上、3階建て以下で建ぺい率30%以下、容積率50%以下といった基準を満たすものをいいます。

2 将来への教育環境の充実

●学府小中一体校の充実

工事に伴う、近隣住民・地元自治会への説明会や自治会回覧を行い、丁寧な周知を徹底します。



建設が進む向陽学府小中一体校

通学路の危険箇所の改修、遠距離通学のためのスクールバス運行、駐車場増設など、児童生徒が安全安心に登下校できる通学路の検討を進めています。

●幼児教育の充実

引き続き保育園枠を増やしていくための検討が必要です。大藤こども園・向笠幼稚園の再築・統合を、向陽学府小中一体校の状況も念頭に置きながら検討していきます。

3 安心・安全な地域づくり

●“命を守る”ための活動

災害からの復旧・自然災害への対応、「水災害対策プラン」の早期実施を進めます。



敷地川護岸整備(笠梅)

「我が家の専門家診断事業(木造住宅の耐震事業や除去等の助成のため診断)」の継続と推進を行います。

●基幹道路・河川の整備

太田川・敷地川・小藪川等、河川堤防の天端舗装・構造の強化を進めます。市民の生命・財産を、がけ崩れ等の土砂災害から守る対策事業を推進します。



土砂災害防止の擁壁(竹之内)



敷地川護岸工事(岩井・篠原)

4 広くつながる地域の「輪」

●地域コミュニティの再構築

向陽学府一体校において、地域の方との連携を促進する「地域連携室」、福祉施設との交流を支援する「(仮称)福祉交流支援室」の設置を進めます。

●“人と人”をつなぐ活動の推進

「磐田ここからラボ」を通じ、様々な学びの場と世代を超えた新たなつながりが生まれてきています。市民主体の取組や仕掛けをさらに増やすことを目指していきます。